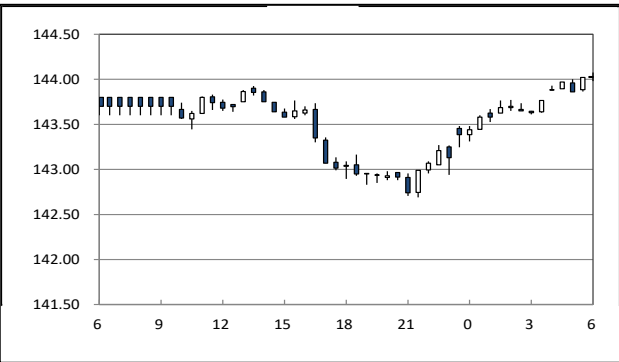


【昨日の市況概要】				公示仲値	143.69
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.80	1.1788	169.45	1.3733	0.6577
SYD-NY High	143.98	1.1830	169.64	1.3787	0.6590
SYD-NY Low	142.69	1.1762	168.46	1.3705	0.6554
NY 5:00 PM	143.42	1.1807	169.31	1.3742	0.6582
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,494.94	400.17	日本2年債	0.7400%	▲0.0100%
NASDAQ	20,202.89	▲ 166.84	日本10年債	1.3900%	▲0.0400%
S&P	6,198.01	▲ 6.94	米国2年債	3.7715%	0.0451%
日経平均	39,986.33	▲ 501.06	米国5年債	3.8325%	0.0328%
TOPIX	2,832.07	▲ 20.77	米国10年債	4.2407%	0.0097%
シゴ`日経先物	39,750.00	▲ 645.00	独10年債	2.5670%	▲0.0290%
ロンドンFT	8,785.33	24.37	英10年債	4.4530%	▲0.0325%
DAX	23,673.29	▲ 236.32	豪10年債	4.1230%	▲0.0430%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	10.85%	0.28%
上海総合	3,457.75	13.32	USDJPY 3M Vol	10.62%	0.26%
NY金	3,349.80	42.10	USDJPY 6M Vol	10.40%	0.10%
WTI	65.45	0.34	USDJPY 1M 25RR	▲1.59%	Yen Call Over
CRB指数	296.05	▲ 1.22	EURJPY 3M Vol	8.64%	0.10%
ドルインデックス	96.82	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	9.00%	0.02%

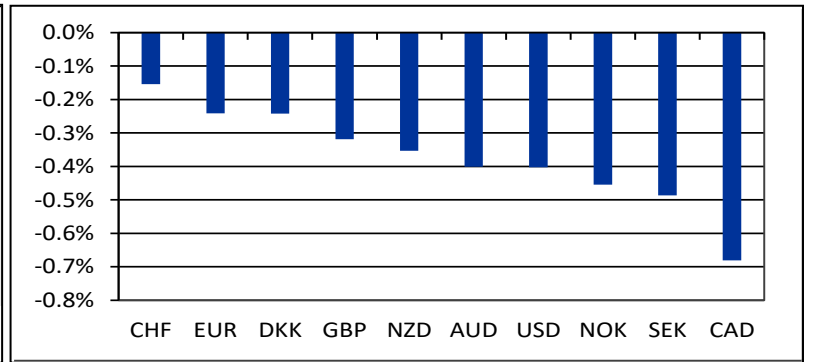
東京	東京時間のドル円は朝方の日銀短観が予想対比良好な結果だったことで円買い優勢となり143.80レベルでオープン。その後はトランプ大統領によるコメの輸入に関するコメントを受けた関税懸念でドルの上値が重く、結局143.65レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.65レベルでオープン。米10年債利回りが節目の4.2%を下回って下落する中、142.71まで売られる。その後、米金利低下の流れが一服するとドル円も下げ渋り結局142.75レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は午前中に発表された米6月ISM製造業景況指数と5月JOLT求人件数が予想を上回った事が好感され、米金利の上昇と共に買いが優勢となり、143.60付近まで上昇する底堅い推移。午後ドル買いの流れが続き、143.81まで上値を伸ばす。その後は買い一巡となり、143.42レベルでクロス。一方、ユーロは予想を上回った米経済指標の結果を背景としたドル買い地合いが重しとなり、1.1762まで下落する軟調な推移。午後はドル買い一巡となり、1.18ちょうど付近まで反発し、その後1.1807レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
7月1日	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	6月	50.4	49.3
	17:00	欧	製造業PMI・確報	6月	49.5	49.4
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	6月	0.3%/2.0%	0.3%/2.0%
	22:45	米	製造業PMI・確報	6月	52.9	52
	23:00	米	ISM製造業景況指数	6月	49	48.8
	23:00	米	建設支出(前月比)	5月	-0.3%	-0.2%
【本日の予定】						
Date	Time	Event		予想	前回	
7月2日	10:30	豪	小売売上高(前月比)	5月	0.5%	-0.1%
	18:00	欧	失業率	5月	6.2%	6.2%
	21:15	米	ADP雇用統計	6月	98k	37k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-144.00	1.1750-1.1850	168.00-170.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は日米の経済指標の結果に振られるも、ドル円は下に行ってこいの展開となった。東京時間143.80でオープン。朝方の日銀短観が予想対比堅調だったことで円買い優勢の展開。その後もトランプ大統領によるコメの輸入に関するコメントを受けた関税懸念でドルの上値が重く推移。海外時間でも流れが変わらず、米金利の低下も相まって、この日の安値142.69まで下落。その後NY時間にて発表された米5月JOLT求人件数が予想を上回ったことが好感され、米金利の反発と共にドル買いが優勢となり、一時143.81まで上値を伸ばし、結局143.42でクローズした。本日のドル円は米金利の軟調な推移を受けてドル円は上値重い展開を予想する。引き続き米を巡る関税懸念や米債利回りの低迷を背景にドル円は上値重い展開を予想する。海外時間では米6月ADP雇用統計の発表が予定されている。昨日の米JOLT求人件数が良好だったこともあり、米6月ADP雇用統計にも期待が寄せられていると想定し、軟調な結果となった場合のドル円の下落リスクに留意したい。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。